

関東ふれあいの道(栃木)②1 鯉と山あいのみち

2025 年 1 月 18 日 池内淑皓

2024 年 10 月 12 日(土)晴れ。相変わらず暑い。

昨日は茂木町のホテルに宿泊した。今日の出発地まではバスの便が無く、(廃路線)デマンドタクシーを使つてのウォークとなった。このタクシーの乗車方法は、あらかじめ茂木町役場に乗車日、乗車時間、行き先を登録する。

OK の回答が来たら、指定タクシー会社に連絡して、指定場所に来てもらう方式。料金はバス料金と同額。

路線バスが廃止されたのは、過疎化が進み乗客がいなくなったからだ。



「**②1**鯉と山あいのみち」案内板 茂木駅構内にある



「地図」 大瀬やな場→鎌倉山→荒樫神社→茂木城跡→茂木駅 8.8km 3時間



「デマンドタクシー」茂木町役場に事前予約する。目的地まで 300 円で行ける



「大瀬やな場」 到着



那珂川を半分堰き止めて、鮎を誘導する。



竹の簀の子の上に川が流れるようにして、鮎を捉える



鮎は塩焼き、鮎飯にして茶店で食べる。燻製、甘露煮等ある



朝が早いので鮎の塩焼きは食べられなかったが、鎌倉山に向けて出発



那珂川(標高 46m)から鎌倉山(207m)まで直登する。40 分程であったが、久しぶりに厳しい登りであった



稜線に出ると浅間の祠があって、一休み出来る東屋もある



10 時なのに先客がいた。車で来て反対側から登って来たという



関東ふれあいの道石標も、半分草に埋もれてあった



反対側の道は舗装された林道で、車でも登って来られる



道も緩やかで、まだ夏の名残をとどめた木漏れ日が、涼しく感じる



県道に出ると、今度は栗拾いの楽しみが待っていた。夜は栗ご飯だね



季節的には秋酩(たけなわ)なのだ(小井戸集落にて)



集落を外れて、道標通りに再び里山に入る



「荒檀神社」大同元年(806)創建、延喜式に記載の古社。 鎌倉時代には茂木城の鬼門除けとして崇敬された



「三重塔」永禄年間(1558-1569)の建築と考えられ、西明寺(益子)の三重塔と同様の様式を持つ。アア無残



「茂木城」荒檀神社と尾根続きに位置する。茂木氏の祖、茂木知基が建久3年(1192)築城し、
慶長15年(1601)廃城となるまで400年間茂木氏の居城となった



典型的な山城で、本丸、二の丸、出丸も備える



茂木駅には舗装道路を道なりに下って、逆川に出て 10 分



ゴールの茂木駅に到着、電車は昼間、一時間に 1 本出ている

[参考タイム] 大瀬やな場(9:15)→鎌倉山(9:55-10:10)→小井戸集落(11:40)→荒檀神社(12:15-12:20)
→茂木城址(12:55-13:10)→茂木駅(13:35-14:13) →JR 下館駅(15:25)

この項完